

部誌創刊に際して

主将 尾崎

ここに部誌「流星」の創刊号が誕生致します。思えば、部の誕生は前身明治工業専門学校時代にさかのぼり、今日の九州工業大学責善会自動車部までの歴史は三十五年余となりその長い伝統と数々の栄誉を誇っております。多年の念願でした部誌が誕生する今日までよく部を維持発展されてこれた先輩諸兄並びに関係各位の方々に部員一同心からお礼を申し上げます。

我が国の自動車業界もこの三十五年の間にめまぐるしく発展をとげ今日では自動車王国アメリカにもひけをとらぬ様な車が続々生まれ、ますます広く大衆の間に普及してまいりました。当然この時流と同時に自動車部も大きく変化してまいりました。近年自動車競技も増々盛んになり活動範囲も広くなつてまいりました。そこでこの部誌により当部の歩み、活動状況を始め、広く一般社会の方々に理解してもらえれば幸いです。

今後共、当部発展のため御支援、御指導を下さる様お願い致します。

部誌発刊を祝して

このたび長い間の懸案であつた部誌の発行が、部員諸君の大変な努力で、いよいよ軌道に乗ることになり、ここにその創刊号を出すに至つたことは顧問の私としてこの上ない喜びであり、又その創刊号に祝辞を寄せることになつたのは私のこの上ない光栄と思つております。

顧みますと、私が本学に奉職するようになったのは昭和二十三年四月からで、当時は勿論明治工業専門学校でしたが、その時から自動車部がありました。まだ戦後三年目で食糧事情も悪く、世の中も騒がしかったのですが、自動車部員は実によく車の整備をやつていました。その頃はまた新荘先生がおられて部長でしたので私など出る幕でもなし、お世話はしませんでしたが、私の専門が内燃機関ですので、自動車には大いに関心があり、部員諸君の活躍はよく見て感心したものです。何でも聞く所によると、大型（当時の話。今では中型か？もうこんな車は殆どありませんが）トラック・トヨタ四トン・ガソリン車を終戦の時、宮崎の方に捨ててあつたのを拾つて来

顧問 河村

（助教）

たとか。この中古車を後生大事に一生懸命整備していたのはホトホト感心しました。それだけではありません。当時機械科所属の乗用車改造の小型貨車と、まさにオンボロのバスを練習用に整備して動かしていました。私はその頃主爾寮にいましたので私の子供がそのポロバスに乗せてもらつて喜んでいたので私の子供がそのポロバスに型トラックで職員の引越しのアルバイトをしてガソリン代をかせいでいました。私も山口から戸畑まで引越するのにお世話になつたものです。

所でその時新荘先生がおやめになつたので部長の後がこちらに廻つて来て、部長をやらざるを得ないことになつたわけです。私自身免許証を未だに持つていないし、エンジンはともかく車体関係については余りよく知らなかつたのですが、まあとにかく部長をお引き受けしました。私の方針は、自動車部は部員諸君で立派にやつていけるのだし、何も先生が口出しする必要はない。ただ学校、主として会計課すなわち自動車の維持についてガソ

リンや金と関係のある所との交渉。又自動車会社等対外的なことで学生諸君だけよりは先生を連れていった方が話が通りやすいと思われるような時に出て行つて世話をすればよろしい。あるいは何か問題が起つたりした時の尻ぬぐいをしてやればよろしいということで、専ら部員を信頼しています。これは今も変りませんし、事実今まで少々問題もありましたが、私の基本の方針を変える必要を認めません。立派な部則があり、A・B・C・D級という、嚴重な資格があり、幹事以下よく統制も取れ、殆ど文句をいうことはないのですから、又その方が部長としても案でもありませんね。尙部長という名称は、善会の規約の改正によつて顧問となり、対外的に部長と名の方が便利な時は便宜上部長という名称を使つてもよろしいということになつたのでそのようにしています。この顧問ですが、新莊先生のとずつと私がやつていたわけではなく、その内、勝原先生が来られましたので、大体一年交代でやつております。前記の通り名前は自動車部顧問でも実質は何もしなくてもよいようになっているので、やはり自動車部はなかなかそうは行きませんで、何かや問題がありました。はじめのうち、車は皆学校の所屬で、た、ナンバーで、それに相当して自動車維持費という金が学校予算として来ているので、こ

れを自動車部にそのまま貰うべく会計課に何度も手をかえ品をかえ交渉しましたがなかなか思うようにならず、今以てうまく行つていません。ただできる限り有利になるように計らつてはいるつもりです。その外、思い出はいくらでもあります。ラリーのこと。毎年三月終りから四月上旬にかけてやる遠征で自動車販売会社に車を借りに行つたこと。最近はなるべく安く車を買うこと。中でも一番厄介なのは事故のとき。昨年はこの事故が続げざまに起つて、警察に行つたり、相手方と話しあつたりで、これには少々参りましたが、まあこちらが良識ある部員ですから安心して何とかやれます。ごく最近ではこの夏インカレが本学の当番で行なわれ、その自動車競技が雨の中でやられました。男子大型で全員失格。お蔭で猛烈な抗議をうけて少々タジタジ。幸いにして有力な先輩諸君のお蔭で何とか切り抜けてホツトしたというように一幕もあり……等々ですが、とにかくよい部員諸君ばかりだということは顧問をやつていても気持がよく余り苦にならないということです。

どうか願わくばこの立派な部の伝統を受け継いでますます部が発展していきますように、又せっかく創刊した部誌は中絶することなく、必ず継続して発行し、部員相互、並びに先輩と現役部員を結びつける有力な仲立ちになりますように祈つてやみません。

(注1) 彗星

(注2) 蒼竜

(注3) 流星